

事業 11	方針等 区分	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3)情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成24年度			
	事業名	地場産品及び伝統工芸品等の販路 開拓推進		予算額	24,849 千円		
				決算額	24,257 千円		
	事業概要	伝統工芸品のインターネット通販、駿府楽市 特産品展示コーナーの運営等により、地場産 品や伝統工芸品等の販路開拓を図ります。		取 組 状 況 (9/1 現在)	JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年 間27回の展示会を開催予定、内現在までに12展示会を実施した。 4/1~8/31までの来場者数 209,290人		
					補 足 事 項	進 捗 率	9月1日 現在
	3月31日 現在	(イベント開催回数)50回	100 (%)				
	成果目標	各種展示販売イベント 50回/年 (駿府楽市や駿府匠宿のギャラリー等)		事 業 結 果	<p>■特産品展示販売 JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーに おいて、年間27回の展示会を開催実施した。 ※年間来場者数 529,120人(平成24年度)</p> <p>■伝統工芸品の海外販路開拓に関するセミナーの企画準備 ジェトロ静岡貿易情報センターとのコラボレーションにより、来年度の開催 に向けて、セミナーを企画立案中である。また、伝統工芸品に携わる方々 の意向を踏まえる意味からも、1月下旬にアンケート形式での通知文を関 係者に発送し、今年度末までに意向を取りまとめる予定である。 ※発送件数 漆器や蒔絵など計11団体(対象者数68人)</p>		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針			事 業 評 価 等 (事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項		
		大施 策					
		中施 策					
産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向	2 生活の質を高める産業の振興	事 業 評 価 等 (事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項				
	基本 方針	(1)マーケットを重視した事業展開 の促進		<p>・「駿府楽市・駿府匠宿」は静岡市内唯一の伝統工芸品・地場産品の展示・販売の 場なので、お客様のニーズが何等かの形でフィードバックされれば、今後の販路開 拓につながると思われる。</p> <p>・駿府楽市の展示コーナーのイベント告知、PRをもっと積極的に行う必要がある。</p>			
	基本 施策	③販路開拓支援					
所属部会	<p>■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当</p>		事 業 担 当 課 等	改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	静岡の玄関口で静岡市の地場産品を宣伝PRするという事業の実施に関しては問題 がないが、ここ数年において静岡駅の乗降客の減少が売り上げに現れ苦戦を招いて いる。このことはJR静岡アスティ全体の問題で今のところどうすることもできない。		
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当						

事業 12	方針等 区分	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3)情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成24年度			
	事業名	全国規模等の見本市への出展助成強化		予算額	15,300 千円		
				決算額	12,134 千円		
	事業概要	市内中小企業製造業者が市内外で行われる全国規模または国際的な展示会・見本市等に 出展する経費のうち小間料について、助成を拡大します。		取 組 状 況 現 況 (9/1現在)	◆平成24年9月1日現在、補助金申請件数は30件(28件)で、相談中の企業は7件です。また、その執行額は7,951千円(7,757千円)となっております。 ※()内は平成23年9月1日の数値 昨年度は震災の影響で、展示会が開催されない等の理由により、申請が減少しましたが、今年度は少し回復傾向にあります。 また、今年度は新規申請企業が多く、当補助金の存在が周知されてきていると言えます。		
					補 足 事 項	進 捗 率	9月1日 現在
	3月31日 現在	(大規模展示会助成件数)52件 (参考)対予算執行額	37.1 79.3 (%)				
	成果目標	助成件数 140件/3年 (1社当たり、国内外 各1回の計2回/年に強化)		事 業 評 価 等	◆申請件数：52件 執行額：12,134千円(平成25年3月31日現在)		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を旨とした産業構造の知的 高度化		事 業 結 果	◆当補助金を利用した52社の中で、新規に利用した企業は11社になります。また、問い合わせも多く、補助金の周知されてきていると考えております。申請件数は、震災の影響があった昨年に比べ増加しておりますが結果的に一昨年度並みとなりました。	
		大 施 策	(2)地域産業の活力強化			◆事業の周知活動 静岡商工会議所製造業部会に出席し、本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めることができた。同様に、静岡市清水商工会、蒲原商工会、由比町商工会にも周知した。 (日時)3月5日 15:30~ 静岡商工会議所清水事務所会議室	
		中 施 策	②経営基盤とマーケティング力の強化				
	産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向	2 生活の質を高める産業の振興		事 業 評 価 等 (事務担当 記載項目) 所 属 部 会 か ら の 意 見 及 び 指 摘 事 項	◆北九州市では2年に1回程度、補助事業の事業成果に関して、フォローアップを実施しているため、今後当該事業に対しても、事業者ニーズが把握できるようにアンケート等を実施することが必要ではないか。	
		基本 方針	(1)マーケットを重視した事業展開 の促進			◆予算措置がされているものの、助成件数が減少傾向になっているため、事業者側の実態と事業制度に乖離が生じている可能性がある。そのため、事業者の実態を把握し、それに見合った制度として変更していく必要があるのではないか。	
基本 施 策		③販路開拓支援	◆全国に自社製品をアピールすることは、販路開拓という観点から、非常に重要なことであり、せっかく静岡市にはそれを助成する制度があるので、当補助金の周知を積極的に行ってほしい。				
所属部会	■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 工業支援担当		事 業 担 当 (記載事項) 改 善 点 目 標 の 未 達 成 理 由 等		◆平成25年度は、当補助金を利用した企業に対しアンケートを実施する予定です。効果的な結果を得られるような設問を準備する必要があり、精査をしていきます。		
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 工業支援担当				◆今年度、本補助金利用者からの聞き取りの結果、海外へのニーズが汲みとれたため、来年度から海外展示会への出展事業者に対して、助成を強化します。来年度のアンケート実施を含め、事業者のニーズを把握し、制度に柔軟性を持たせるように努めていきます。 ◆当該補助制度を知らない企業がなくなるように、補助金の周知方法を検討しています。		

事業 13	方針等 区分	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成24年度				
	事業名	中小企業の新規市場開拓・新分野 進出への支援(情報発信・ビジネ スマッチングの機会提供)		予算額	5,769千円			
				決算額	4,644千円			
	事業概要	新規顧客開拓や新分野進出を目指 す市内企業を支援するため、情報発 信やビジネスマッチングの機会提供 を推進します。		取 組 状 況 (9/1現在)	まちみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア 10月4日・5日 募集終了 参加企業2社 ・中小企業総合展 10月10～12日 東京ビックサイト 募集終了 出展企業7社 ・おた工業フェア 2月2日～4日 募集終了 参加企業2社 ・ものづくり基盤技術保有状況調査及び技術PR冊子の発行 アンケート(実施済み) 500社 ヒアリング(現在実施中) 100社 【今後の予定】 ・おた研究・開発フェア 10月4～5日 2社 ・中小企業総合展 10月10～12日 東京ビックサイト 参加企業7社 ・おた工業フェア 2月2～4日 2社 ・技術PR冊子の発行 25年3月			
					補 足 事 項	進 捗 率 等	9月1日 現在	(支援事業への参加企業数) (新規顧客開拓件数) (新分野進出・業務転換企業数)
	3月31日 現在	(支援事業への参加企業数) 19社 (新規顧客開拓件数) 3件 (新分野進出 ・業務転換企業数) 6社	63.3 50.0 200.0 (%)					
	成果目標	支援事業への参加企業数 30社/3年 新規顧客開拓件数 6件/3年 新分野進出・業務転換企業数 3社/3年		事 業 評 価	■まちみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おた研究・開発フェア(太田区)への市内企業派遣 10月4～5日 出展企業2社 ものづくり受発注商談会への市内企業参加幹旋 10月5日 参加企業3社 ・中小企業総合展(東京ビックサイト)への市内企業との共同出展 10月10～12日 参加企業7社 ※新規契約件数3件 ・おた工業フェア(太田区)への市内企業派遣 2月2～4日 参加企業2社 ・ものづくり基盤技術保有状況調査の実施(5月～10月) アンケート 500社 ・ヒアリング 100社 ・調査結果をまとめた市内企業技術PR冊子 「しずおか匠・工・巧(たくみ)ナビ」の発行 平成25年3月、5,000部発行、3,000部を首都圏企業に送付 ・静岡県立大学見学会 5社参加 ・「企業立地促進法」に基づく「企業立地計画・事業高度化計画」の 取得支援による市内企業の新分野進出支援 事業認定20社、新分野進出6社 ◇支援事業への参加企業 19社 ◇新規顧客開拓件数 3件 ◇新分野進出・業務転換 6社			
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策 方針			事 業 結 果			
		大 施 策						
		中 施 策						
まちみがき 戦略推進 プランの 位置付け	ビジ ョン	「鳥の眼」ビジョン	事 業 結 果					
	政策 の 柱	地元産業の活性化						
産業振興 プランの 位置付け	基本 方向		次 年 度 に 向 け た 改 善 点 ・ 目 標 の 未 達 成 理 由 等					
	基本 方針				・「しずおか匠・工・巧ナビ」を活用したビジネスマッチングの推進 ・首都圏における市内企業の更なる情報発信			
	基本 施策							
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企業立地担当		そ の 他 (特 記 事 項)					

事業 14	方針等 区分	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成24年度			
	事業名	マーケティング支援講座の実施		予算額	指定管理料115,644千円の一部		
				決算額	指定管理料115,644千円の一部		
	事業概要	産学交流センターにおいて、中小事業者等のマーケティング発想の醸成を図り、市場ニーズに対応した製品・サービスの開発を支援するため専門家等によるセミナー・研修を実施します。		取組状況 (9/1現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 6回 受講者数 472人 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・5/17「小が大を超えるマーケティングの法則とは？」 受講者数118人 ・6/5「『A4』1枚アンケートで利益を5倍にする方法」 受講者数121人 ・6/15「企業のためのマーケティング情報収集・活用手法(2012年版)」 受講者数44人 ・7/12「中小企業のためのFacebook活用基礎講座」 受講者数98人 ・8/25「マスコミに取り上げられるプレスリリース(初級者向け)」 受講者数37人 ・8/29「話題の『行動観察』、概要と実践ポイント」 受講者数54人 【今後の予定】 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 6回 		
					補足事項	進捗率等	9月1日現在
	3月31日現在	(開催回数) 12回 (受講者数) 877名	33.3 (%) 41.8 (%)				
	成果目標	開催回数 36回/3年 受講者数 2,100人/3年 (※再掲 事業5の内数)		事業 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 13回 受講者数 987人 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・5/17「小が大を超えるマーケティングの法則とは？」 受講者数118人 ・6/5「『A4』1枚アンケートで利益を5倍にする方法」 受講者数121人 ・6/15「企業のためのマーケティング情報収集・活用手法(2012年版)」 受講者数44人 ・7/12「中小企業のためのFacebook活用基礎講座」 受講者数98人 ・8/25「マスコミに取り上げられるプレスリリース(初級者向け)」 受講者数37人 ・8/29「話題の『行動観察』、概要と実践ポイント」 受講者数54人 ・10/11「安売りせずに、お客さんをごっちり掴む技術」 受講者数: 69名 ・10/23「～アイデアは才能では生まれない～ ヒットする商品の開発のしかた」 受講者数: 90名 ・11/16「『売れる』スタッフ育成法」 受講者数: 53名 ・11/28「アート&デザイン、海外への商品展開に必要なルールとは？」 受講者数: 49名 ・12/4「0円で8割をリピーターにする集客術」 受講者数: 83名 ・1/17「中小企業のブランド価値の見つけ方、育て方」 受講者数: 61名 ・3/8「変化の時代に求められるリーダーシップとは」 受講者数: 110名 		
	総合計画の位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業 評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 引き続き、セミナー受講者のニーズを把握し、セミナーのテーマの選定に活かしていく。	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成 ②経営者・経営幹部の意識改革による経営能力の向上				
	産業振興プランの位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	事業 評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 引き続き、セミナー受講者のニーズを把握し、セミナーのテーマの選定に活かしていく。		
		基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進				
		基本施策	①マーケティング力の強化				
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)			

事業 15	方針等 区分	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4)経営資源確保のための環境整備		平成24年度					
	事業名	専門家による窓口相談		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,600千円の一部				
				決算額	中小企業支援センター運営補助金33,600千円の一部				
	事業概要	中小企業支援センターにおいて、 専門の異なる中小企業診断士等による 窓口相談を実施します。		取 組 状 況	現 況 (9/1現在)	・窓口相談企業数 133社 ・窓口相談件数 157社 (業種別内訳) 製造業 8件、卸売業 7件、建設業 1件、小売業 16件、 サービス業 93件、その他 32件 (支援内容別内訳) 創業 75件、経営革新 21件、その他 61件			
						補 足 事 項	進 捗 率 等	9月1日 現在	(相談件数) 17.5 (%)
								3月31日 現在	(相談件数) 47.5 (%)
	成果目標	相談件数 900件/3年		事 業 評 価	事 業 結 果	(各項目の数値は3月31日実績) ・窓口相談企業数 402社 ・窓口相談件数 483件 (業種別内訳) 製造業 28件、卸売業12件、建設業 6件、 小売業 46件、サービス業 268件、その他 42件 (支援内容別内訳) 創業 272件、経営革新 44件、その他 167件			
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策 方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構 造の知的高度化						
		大 施 策	(2) 地域産業の活力強化						
		中 施 策	③経営基盤とマーケティング力の強化						
	産業振興 プランの 位置付け	基本 方向			次 年 度 に 向 け た 改 善 点 ・ 目 標 の 未 達 成 理 由 等				
		基本 方針							
		基本 施策							
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		そ の 他 (特記事項)					

事業 16	方針等 区分	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4)経営資源確保のための環境整備		平成24年度			
	事業名	コンサルティングの実施		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料83,491千円の一部		
				決算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料83,491千円の一部		
	事業概要	中小企業支援センター及び清水産業・情報プラザにおいて、専門家を 事業者に派遣し、問題解決のための 診断・助言を行います。		取 組 状 況 (9/1現在)	【中小企業支援センター】 ・専門家派遣企業数 18社 ・専門家派遣件数 33社 (派遣内容内訳) 経営全般 19件、マーケティング 7件、IT 7件 (派遣業種内訳) 製造業 9件、卸売業 1件、建設業 6件、 小売業 2件、サービス業 13件、その他 2件 【清水産業・情報プラザ】 ・専門家派遣件数 3件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース 1件、エコアクション21取得コース 1件 品質向上コース 1件 (派遣業種内訳) 製造業 2件、卸売業 1件 ・今後の予定 派遣申込者2社に対して派遣する専門家を決定する。		
					補 足 事 項	進 捗 率 等	9月1日 現在
	3月31日 現在	(派遣回数) 112件 16.9 (%)					
	成果目標	派遣回数 660件/3年		事 業 評 価	【中小企業支援センター】 (数値は3月31日現在) ・専門家派遣企業数 62社 ・専門家派遣件数 123社 (派遣内容内訳) 経営全般 48件、マーケティング 16件、 ビジネスプラン 26件、IT 25件、その他 8件 (派遣業種内訳) 製造業 28件、卸売業 13件、建設業 13件、 小売業 10件、サービス業 42件、その他 17件 【清水産業・情報プラザ】 ・専門家派遣件数 10件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース 7件、エコアクション21取得コース 1件 品質向上コース 2件 (派遣業種内訳) 製造業 8件、卸売業 2件		
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策 方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構 造の知的高度化		事業 結 果		
		大 施 策	(2) 地域産業の活力強化				
		中 施 策	③経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興 プランの 位置付け	基本 方向		次 年 度 に 向 け た 改 善 点 ・ 目 標 の 未 達 成 理 由 等	【中小企業支援センター】 これまでのHPでの周知以外に、産学交流センターのセミナー等の 事業においても、専門家派遣制度の積極的な周知に努め、1社でも多 くの企業に利用してもらえるよう努める。 【清水産業・情報プラザ】 次年度は、BOP策定を支援コースに追加し、コースの充実を図る。			
	基本 方針						
	基本 施 策						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		そ の 他 (特記事項)				

事業 17	方針等 区分	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4)経営資源確保のための環境整備		平成24年度			
	事業名	専門家の指導による商品企画・開発支援		予算額	産学交流センター指定管理料115,644の一部		
				決算額	産学交流センター指定管理料115,644の一部		
	事業概要	産学交流センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を活かした商品づくりに対する支援を行います。		取組 状況 (9/1現在)	【「静岡おみやプロジェクト」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成24年6月14日～平成25年3月末 ・参加企業数 6社 ・9月1日現在において、マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の商品企画及び企画書精査を実施。 【今後の予定】 ・デザイナーによる講義を経たのち、テストマーケティング(11月末) ・商談会(2月) ・成果発表会及び販売会(3月)		
					補足事項	進捗率等	9月1日現在
				3月31日現在	(支援プロジェクト数) 1件	33.3 (%)	
	成果目標	商品企画・開発支援プロジェクト プロジェクト数 3件/3年		事業 評価	事業結果	【「静岡おみやプロジェクト」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成24年6月14日～平成25年3月末 ・参加企業数 6社 ・マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 ・11月24～25 テストマーケティング実施 ・2月21日 商談会実施 ・3月5日 成果発表会実施 ・3月23～24 お披露目販売会実施	
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化				
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	③ 経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今年度からプロジェクト参加企業に対して、プロジェクト終了後3年間、毎年度成果品に関する実績報告書を提出させることとした。必要に応じて、産学交流センター・中小企業支援センターの支援メニューによる支援を実施したり、他の支援機関への引き継ぎ等を実施する。		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	① マーケティング力の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)				

事業 18	方針等 区分	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成24年度								
	事業名	起業に向けたビジネスプラン策定等の支援	予算額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び産学交流センター指定管理料115,644千円の一部								
			決算額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び産学交流センター指定管理料115,644千円の一部								
	事業概要	新規に事業展開を目指す事業者等を対象にコンテストを実施、受賞者に対する事業化に向けた支援を実施します。	取組状況 (9/1現在)	現況	10月26日を応募期限として、ビジネスプランを募集中。 9月1日までに、セミナー開催数 2回実施、受講者数 65人							
					【今後の予定】 ・応募締め切り 10月26日 ・書類審査 11月上旬 ・プレゼン審査 11月30日、12月1日 ・最終審査会 2月13日							
	補足事項		進捗率等	9月1日現在	(コンテスト応募件数) 1件 (応募支援中の件数) 62.5 (%) (応援支援中50件)							
				3月31日現在	(コンテスト応募件数) 112件 (目標に対する応募件数) 140 (%)							
	成果目標	コンテスト応募件数 80件/年		事業 評価	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプランは、過去最多となる112件の応募があった。 ・書類審査(11月上旬実施)において、プレゼン審査に進出する一般部門15者、学生部門9者を選出。 ・プレゼン審査(11月30日、12月1日実施)において、最終審査会に進出する一般部門6者、学生部門4者を選出。 ・最終審査会を2月13日(水)に実施。審査会終了後、表彰式及び交流会を実施。 ・本事業に関するセミナー開催数 実施回数7回 参加者数188人 						
	総合計画の位置付け (分野別) IV産業・経済	IV産業・経済 政策方針 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援 【再掲】	事業 評価				事業 評価	事業結果				
		大 施 策 (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成								事業 評価	事業 評価	事業結果
中 施 策 ③ 経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ① 起業家精神の醸成と起業家の育成		事業 評価										
基本 方 向 4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	事業 評価		事業 評価	事業結果								
基本 方 針 (1) 創業支援						事業 評価	事業 評価	事業結果				
基本 施 策 ① インキュベート機能の強化		事業 評価								事業 評価	事業結果	
産業振興 プラン 位置付け	事業 評価		事業 評価	事業結果								
基本 方 針 (1) 創業支援						事業 評価	事業 評価	事業結果				
基本 施 策 ① インキュベート機能の強化		事業 評価								事業 評価	事業結果	
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)	事業 評価	事業 評価							
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)			事業 評価	事業 評価	事業結果				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当	その他 (特記事項)	事業 評価							事業 評価	事業結果	

事業 19	方針等 区分	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成24年度		
	事業名	創業者等の営業機会拡大等のための 各種事業の実施	予算額	清水産業・情報プラザ指定管理料83,491千円及びSOHOしずお か運営補助金14,500千円の一部		
			決算額	清水産業・情報プラザ指定管理料83,491千円及びSOHOしずお か運営補助金14,500千円の一部		
	事業概要	清水産業・情報プラザ及びSOHO しずおかにおいて、創業者等の経 営相談や営業機会拡大等のための各 種事業を実施します。	取 組 状 況 現 況 (9/1現在)	(清水産業・情報プラザ) ・専門アドバイザーによる定期相談 9回 23件 ・今後の予定 定期相談16回程度実施		
				(SOHOしずおか) ・起業相談 160件 ・経営相談 567件 ・ブレイクスルーセミナーの開催 開催数 4回、参加者数 360人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催		
	補 足 事 項		進 捗 率 等	9月1日 現在	(相談件数) 合計750件	62.5 (%)
				3月31日 現在	(相談件数) 合計1,602件	133.5 (%)
	成果目標	相談件数 1,200件/3年 営業機会拡大等に関する各種支援の実施		事 業 評 価	事業結果 (清水産業・情報プラザ) 専門アドバイザーによる定期相談 開催回数 22回 相談件数 56件 (SOHOしずおか) ・起業相談 315件 ・経営相談 1,509件 ・ブレイクスルーセミナーの開催 開催数 7回、参加者数 910人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催	
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策 方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業 構造 の知的高度化			
		大 施 策	(2) 地域産業の活力強化			
中 施 策		③経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興 プラン 位置付け	基本 方 向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業 の 輩出、育成	次 年 度 に 向 け た 改 善 点 ・ 目 標 の 未 達 成 理 由 等			
	基本 方 針	(1) 創業支援				
	基本 施 策	①インキュベート機能の強化				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		そ の 他 (特記事項)			

事業 20	方針等 区分	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4)経営資源確保のための環境整備		平成24年度		
	事業名	専門家の指導等による商品企画・開発 等支援の拡充(新商品・特許)		予算額	7,150 千円	
				決算額	4,688 千円	
	事業概要	市内中小企業・製造業者が行う新商品開発 及び特許等の産業財産権出願などに関する 経費の一部を助成します。また、助成事業の 範囲を拡充します。		取 組 状 況 (9/1現在)	◆新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、9月1日現在、3件の補 助金交付申請を受理しています。今後、12月～1月に中間検査、年度末の事業完 了報告を経て補助金を交付します。(交付見込額:2,158千円)	
					◆産業財産権出願等助成 9月1日現在、補助金交付申請件数12件 特許:7件、意匠:1件、実用新案:4件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付します。(交付見込額:1,646千円)	
	補 足 事 項			進 捗 率	9月1日 現在	(新商品助成件数) 3件予定 53.2 (産業財産権助成件数) 12件予定 (2事業合計の予算執行率) (%)
					3月31日 現在	(新商品助成件数) 3件 25.0 (産業財産権助成件数) 20件 30.3 (%) (参考)2事業合計対予算執行率 68.7
	成果目標	新商品 12件/3年 産業財産権 66件/3年 (対象事業を拡充)		事 業 評 価 等	◆新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、3件の補 助金交付申請を受理しました。各事業所とも課題点等はあったものの、 順調に開発が完了しました。(執行額:1,976千円)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV産業・経営 1 都市型産業集積を旨とした産業構造の知 的高度化		◆産業財産権出願等助成(3月31日現在) 以下の補助金交付申請件数がありました。 申請件数20件(内訳)特許12件、意匠2件、実用新案6件 (執行額 2,712千円)	
		大 施 策	(3) 知的産業を支える知的経営資源の活 用強化		◆事業の周知活動 静岡商工会議所製造業部会に出席し、本事業の周知を図り、助成制度 の活用促進に努めることができました。同様に、静岡市清水商工会、蒲原商 工会、由比町商工会にも周知した。 (日時)3月5日 15:30～ 静岡商工会議所清水事務所会議室	
中 施 策		① 研究開発力の強化				
産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向	2 生活の質を高める産業の振興	〔事務担当 記載項目〕 所属部会 からの 意見及び 指摘事項		◆補助制度が存在していても、事業者がその存在について知らなければ、利 用することはできない。補助制度について全般的に言えることだが、当補 助金も同様に、より事業者の耳に入るよう周知の方法を検討し、実践して いただきたい。	
	基本 方針	(1) マーケットを重視した事業展開 の促進				
	基本 施策	①マーケティング力の強化				
所属部会	■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 工業支援担当		〔事業担当 記載事項〕 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	◆現在、静岡商工会議所、産学交流センター(B-nest)、静岡県工業技術セ ンター、静岡県発明協会、静岡県中央会などにPR用チラシを配置してい るところですが、今後は中小事業者が頻繁に集まる機会をとらえ、そのよ うな場へ積極的に向向き、補助制度を説明します。		
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 工業支援担当					